

2024年2月15日

各位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹



太陽生命少子高齢社会研究所が実施する 「音声データを活用した要介護リスクの早期発見 AI の開発」が、 厚労省実施の「中小企業イノベーション創出推進事業」に採択

太陽生命保険株式会社（本社：東京都中央区、社長：副島直樹 以下、「当社」）の子会社である株式会社太陽生命少子高齢社会研究所（本社：東京都中央区、社長：高橋秀成 以下、「研究所」）は、令和4年度第2次補正予算「中小企業イノベーション創出推進事業」における「リアルワールドデータを活用した疾患ハイリスク者の早期発見 AI システム開発と予防介入の社会実装検証」（以下「本事業」）の共同提案者の一つに採択されましたのでお知らせいたします。

研究所は本事業内で、国立研究開発法人 国立循環器病研究センターの協力のもと、SMK 株式会社（本社：東京都品川区、社長：池田靖光）と共同で「音声データを活用した要介護リスクの早期発見 AI」を開発し、本開発を通じて太陽生命のお客様の元気・長生きを支えるサービス等の創出を目指します。

◇「SBIR 制度の概要」内閣府ホームページ

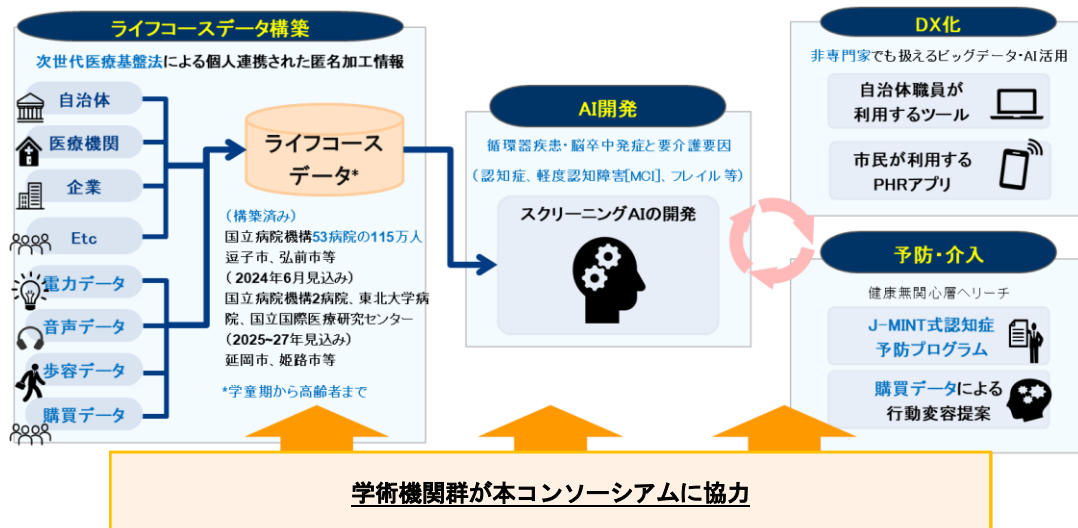
<https://sbir.est-startup-policy.go.jp/about/develop.html>

本事業の概要

（詳細は別紙を参照）

本事業は、健康長寿社会の実現に向けた AI や DX 技術の社会実装を目指す事業として SBIR に採択されました。

本事業では、日本人の健康寿命延伸を阻害する主な要因である、循環器疾患・脳卒中発症と要介護要因を早期発見し介入するためのシステム構築のために、ヘルスプロモーションサイクルを「すべて担う」パッケージプログラムの開発と社会実装を実施します。



当社および研究所では、今後も健康寿命の延伸等の社会的課題の解消に向けた取り組みを進めてまいります。

以上



中小企業イノベーション創出推進事業（SBIR）とは

中小企業イノベーション創出推進事業（SBIR:Small Business Innovation Research フェーズ3 基金事業）は、革新的な研究開発を行うスタートアップ等が社会実装に繋げるための大規模技術実証を実施し、先端技術の社会実装の促進を図ることを目的とした補助金制度です。

「リアルワールドデータを活用した疾患ハイリスク者の早期発見 AI システム開発と予防介入の社会実装検証」 事業概要

本事業はリージョナルデータコア株式会社を代表提案者とし、共同提案者および連携協定締結先（※1）の主導のもと、4つの領域を9つのテーマに分けて実施されます。事業全体には、学術評価のための複数の学術機関、社会実装及び技術開発協力のための、スタートアップを含む15以上の民間企業が参画し、連携しながら推進されます。

【本事業で取り組む4つの領域】



【本事業で取り組む9つのテーマ】

領域	内容
ライフコースデータ構築	ライフコースデータの安全な利活用
AI 開発	電力データを活用した要介護リスクの早期発見 AI
	音声データを活用した要介護リスクの早期発見 AI
	歩容データを活用した認知症高齢者徘徊等の見守り
	要介護・脳卒中・循環器疾患等の AI 予測モデルの開発
DX 化	自治体のヘルスプロモーション活動の BI ツール
	PHRによるデータ収集・共有・AI 予測結果通知
予防・介入	購買データを活用した健康チェックアルゴリズム
	J-MINT 型認知症予防プログラムの社会実装（認知症・MCI、抑うつ傾向等）

太陽生命少子高齢社会研究所が実施
（国立循環器病研究センターの協力のもと、SMK 株式会社と共同で開発）

※ 1 : 本事業の共同提案者ならびに連携協定締結先は下記の通りです。(順不同)

【共同提案者】

- ・ ICI 株式会社
- ・ 株式会社医針盤
- ・ 株式会社太陽生命少子高齢社会研究所
- ・ 株式会社 Noel
- ・ 株式会社 Mediest
- ・ 株式会社リバイタルエイジング

【連携協定締結先】

- ・ CCCMK ホールディングス株式会社
- ・ 国立研究開発法人 国立循環器病研究センター